



## アクティブラーニング～4年研究授業「算数」(図形の面積)より～

新学期も2週間が過ぎます。休み時間には音楽室からでしょうか、鼓笛の練習の音、犬走でのなわとびの歓声が校長室にも響いてきます。正月気分はすっかり薄れ、51日間の学習が順調にスタートし、学校は活気に満ちています。

なるほど～、そういうことね。まだまだある？よいアドバイスありがとう。エ～どうということ？…。

石小では、全ての担任が研究授業を行います。今年度も大学の教授など、その道のエキスパートを招いて助言や指導をいただき、授業の質の向上に努めています。更に、新採用や採用2年・5年・10年目の教師は、別に指定された研究授業も実施しています。

先日、新採用2年目4年生担任が研究授業を行いました。教科は算数、内容は図形の面積の求め方です。「課題をつかみ、見通しを立てて、実際に自分で考え、答えを導く」という一連の流れで授業は進み、教師は、子ども達の取り組みの様子を確認しながら、つまづいている子に、アドバイスをし、ヒントを与えながら自力で解決できるよう、寄り添い、見守り、時に突き放します。

子ども達は、前時までに学習した長方形、正方形の面積の求め方を頼りに、新たな問題に取り組みます。教師から配られた「階段のような形」(子どもが名付けた)と同じ形の数枚の図形を手にし、問題を解き始めると…、前出のつぶやきが教室のあちこちでおこりました。子ども達はその後、先を競うように、もっと他の方法は？別なやり方は？と思考を巡らせます。算数科の醍醐味の多くはここに凝縮します。式に表すだけでなく、図に表したり、線を書き入れたり、今回の授業のように図形を切り合わせるなど、アプローチの仕方は多種多様、その中で意見を交換ながら、簡単な方法や公式等を導き出します。過程の中で大切にしているのが、「主体的・対話的で深い学び」俗にいうアクティブラーニングです。解きたいという意欲から始まる「主体的な学び」友達の考えを参考にしたい、自分の考えも伝えたいという「対話的な学び」更に、他にも…、一番良い方法は？と探究する「深い学び」です。教師は、子どもの反応を予想し、これらの活動を大切にしながら授業をコーディネートしていきます。子どもの知的好奇心をくすぐりながら、意欲が持続するように課題や教材を準備しタイミングよく提示します。

今回の45分授業、教師の指示は大変少ないものでした。しかし、子ども同士の交流は活発で、教室のそこかしこで相談や意見交換が進みました。教師にとって満足のいく授業であったかどうかは、事後研究会での自評を待ちますが、子ども達にとっては充実した時間でした。授業中の表情や授業後の感想が物語っています。

いろいろな方法を考えられて楽しかった。図形が好きになった。

もっと違う解き方があるのかな？と思った。

ぼくは全体から引く方法が簡単だと思ったけど、みんなは違ったみたい。

授業力の向上は、子ども達の本物の学力に直に繋がります。3学期は我々にとっても大切なまとめの学期です。

### 休み明け気になること。(小学生らしい恰好とは…)

奇抜な髪形や服装の気になる児童が見られます。美容院や理容院の悪戯、または、保護者の皆様の好みでしょうか？学校は集い学ぶ場所ですから、奇抜な格好は好奇の目にさらされます。全員が同じ格好である必要はありませんから、子どもらしい服装や髪形を学校で細かく示すものではありません。しかし、子ども達にはその判断はできません。お子さんを守るためにも、理解と協力をお願いします。事情がある場合は声をかけてください。



# 令和5年度 第3学期始業式 式辞(3つの話)

日：令和6年1月9日

於：クリスタルホール

全校生の皆さんおはようございます。いよいよ3学期ですね。今日は3つの話をします。

1つ目のお話です。

もうテレビや新聞で知っていると思いますが、元日、北陸地方で大きな地震がありました。皆さんの家や親せきの方々は大丈夫でしたか？遠い他県で起こった大きな地震ですが、建物が崩壊し、津波が襲い、一週間過ぎた今でも被害の状況は分かりません。避難している人たちは2万人近くですから、石川町に住む全ての人以上が、体育館や公民館に避難し、水や食料を待っています。石川県での地震でしたので、校長先生はちょっと気になって調べてみたのですが、やっぱり、石川県の真ん中あたりの白山市に、石川小学校という同じ名前の学校がありました。全校生は250人くらいです。今頃、石川県の石小の子ども達はどのようにしているのかな？他の学校の子どもたちはどのようにしているのかな？と、とても心配になりました。ご飯はどのようにしているのだろう？夜は眠れているのかな？体育館は寒いだろうな…。

わたしたちには今は何もできませんが、せめてみんなで北陸の人たちの命が救われるように、少しでも早くもとの生活に戻るように、お願いをしましょう。

**～教務の合図で、全校生、全職員で1分間の黙とうを捧げました。～**

2つ目のお話です。

改めて新年おめでとうございます。3学期もよろしくお願ひします。元気な声が返ってきましたね、冬休みはどうでしたか？今日はね、お正月ですからこんなものを作ってきましたよ。

そうです、凧です。今年は辰年ですから、龍の文字を書いてきました。辰は、十二支の中で唯一空想の動物です。ところで、十二支は知っていますか？みんなで声に出して言ってみましょう。子、牛、寅、卯、辰…、5番目が辰です。しかし、2つ目の話は辰ではなくて、凧についてのものです。みなさんの中にも凧揚げをしたことがある人も多いかと思いますが、凧を高く揚げるためには、さて何が必要でしょうか？…。そうですね風ですね、だから北風の吹くこの季節には凧揚げが出来るのですね。じゃあ、風がないときは凧をどうやって揚げたらいいのでしょうか…。もう気づいていますね。その時は風を待つのではなく、自分で走って風を起こします。

3学期は、そんな学期にしてほしいのです。3か月後には6年生は中学生になります。1～5年生もそれぞれ学年が一つ上になります。ですから、この3カ月は是非、風を待つのではなく風を起こしてほしいのです。これまでは、言われてからしていたことも、自分で進んで行く、気がついたら、良いと思ったら自分からどんどん進んで行動を起こす、風を起こす学期にしてほしいと思います。そして、次の学年や次の学校に自信を持って進んで欲しいのです。どうですか、出来そうですか？…。はい、またまた元気な声が返ってきました。

それでは、今日はお正月ですから、特別に校長先生が実際に風を起こして凧揚げをしてみましょう。

**～この後、全校生を前に揚げを披露しましたが、上手に揚がったかどうかはお子様にお尋ねください。～**

3つ目の話は、今年本校が10周年を迎えること、そして、10周年を記念して〇×クイズを準備したので、全問正解して「石小博士ちゃん」(認定証)をゲットしてほしいことを伝えました。

少し話が長くなってしまったし、式辞の中で凧揚げする校長はあまりいないだろうなあ(笑)、と、反省しきりでしたが、はじめのあるしかりした態度で話を聞く石小っ子に助けられました。

